

第3回 第5次札幌市バリアフリー基本構想検討部会 会議要旨	
開催日時	令和2年10月1日(木) 14:00~16:00
開催場所	札幌市役所本庁舎 12階2~3号会議室
出席委員	14名 <ul style="list-style-type: none"> ・推進会議委員 出席10名、欠席2名 ・外部委員 出席4名(うち代理2名)、欠席1名
議題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 基本構想の理念について (2) フィールドチェックの振り返り (3) 生活関連経路の考え方について (4) ソフト施策の考え方について (5) 自立支援協議会のアンケート結果の発表 (6) バリアフリーに関する意見交換
議事概要	<p><u>(1) 基本構想の理念について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 事務局より、議題(1)について説明を行った。 ◇ 事務局提案の理念「お互いに思いやり支えあう「行ける」が広がるまちづくり」の了承を得た。今後の部会での議論を加え最終決定とする。 <p><u>(2) フィールドチェックの振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 事務局より、議題(2)について説明を行った。 ◇ 狭幅員道路の整備方法、非優先道路の整備方法について了承を得た。 ◇ 委員からの主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・生活関連経路は優先的にバリアフリー化されるルートのため、冬季においても優先的に除雪を実施された方が生活関連経路としての位置付けがはっきりすると感じる。そのような議論の場があってもいい。 ・狭幅員道路の整備など、ハードで補えない部分をソフトの対策でサポートすることが重要。ハード・ソフト両輪でやっていくという理念に基づいて進めていただきたい。 <p><u>(3) 生活関連経路の考え方について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 事務局より、議題(3)について説明を行った。 ◇ 委員から以下の意見が寄せられた結果、以下の点について整理・検討することとなった。 <ul style="list-style-type: none"> ・新たに指定する4施設(大規模駐車場、市有の子育て支援施設、観光施設、公立小中学校)や市民生活にとって重要な施設の取扱い、主要な生活関連経路とその他の生活関連経路の考え方について再整理し提示する。 ・今後具体的な経路が決定されていく中で、生活関連経路のバリアフリー整備

に関する目標年次などを整理し提示する。

◇ 委員からの主な意見

- ・新たに追加された4施設を結ぶ経路はその他の生活関連経路で結ぶとの判断であるが、それは今回追加した施設はランクが下であるということなのか。
- ・新たな生活関連施設が増えたということで、これまでの考え方を見直すなどの検討を行わないのか。
- ・生活関連経路のバリアフリーについて、これまでの進捗状況や、基本構想改定後にいつ整備が完了するのか整理していただきたい。
- ・スーパー等の商業施設は、例えばまちづくりセンターなどよりも利用頻度が高く、生活にとって重要な施設と感じる。主要な生活関連経路で結ぶことにしたほうがいいのではないのか。

(4) ソフト施策の考え方について

◇ 事務局より、議題（4）について説明を行った。

◇ 委員から以下の主な意見が出された。

- ・提示された施策一つ一つを丁寧に実施していくことが第一段階。出前講座やフォーラムなど、遠隔やオンラインで実施する機会を設けていただく努力をしていただきたい。
- ・心のバリアフリー推進員育成研修（企業向け研修）については、もっと積極的な取組や声かけなどを進めるとともに、目標値をもう少し上げてもいいのではないのか。
- ・小学生や高校生は障がい者に関する教育が一定程度実施されていると理解しているが、中学生の教育が十分ではないと感じているため、何らかの施策があればと考える。

(5) 自立支援協議会のアンケート結果の発表

◇ 自立支援協議会より、議題（5）について説明を行った。

◇ 委員からの主な意見

- ・アンケートを実施することにより、障がい種別ごとに困っているポイントが違うことが分かってきた中で、一概にこれをやれば万能という施策はなく、いろいろなことに注意を払いながらやっていく必要があると思う。
- ・このアンケート結果を広く公表することで、この取組に協力しようとする民間企業が出てきたり、新たなアイデアが出てくる可能性もあるのではないかと思う。

(6) バリアフリーに関する意見交換

◇ 委員からの主な意見

- ・札幌市として、これまで進めてきた福祉の施策を検証し、市民に提示するということが必要と感じる。
- ・まちをバリアフリーにすることが目的ではなく、バリアフリーになったまちに様々な障がいを持った方々が行き交うことで、まちが元気になっているかの検証をしなければならないと思う。
- ・コロナ禍において商業施設等で様々な対応がされているが、デパートなどの消毒剤の設置が車椅子の方には使いづらい状態になっていたり、検温モニターが障がい者の方に見えない場合があることなどが気になっている。皆さんにもそういった視点で日常からチェックしていただきたい。

(7) その他

- ### ◇ 事務局より、次回の検討部会スケジュールや議題について以下の説明を行った。
- ・次回の検討部会は12月～1月を予定。
 - ・次回の議題は、道路や公園、駅など各施設の整備方針とバリアフリー基本構想の改定のポイント整理を予定。